特定施設水道連結型スプリンクラー設備

平成19年、消防法施行令・消防法施行規則の改正により、火災発生時に自力で避難することが困難な入所者がいる社会福祉施設の防火安全対策の強化が図られています。
また、275m²未満の社会福祉施設にもスプリンクラーの設置が義務化されました。（平成27年4月1日施行）
既存施設にも適用されるため改修工事が必要となり、水道連結型スプリンクラー設備は、原則として指定給水装置工事事業者による施工が必要となります。

独自のサーキット配管工法採用のグループホーム対応スプリンクラーシステム

ヤマトプロテック独自のサーキット配管工法

サーキット工法の設計は、専用の圧力損失計算ソフトを使用するため、配管設計と圧力損失計算は、消防法および水道法に従いヤマトプロテックが行います。

■停滞水防止継手

YSPJY20A型　YSPJYL20A型

■新型グラスバルブヘッド

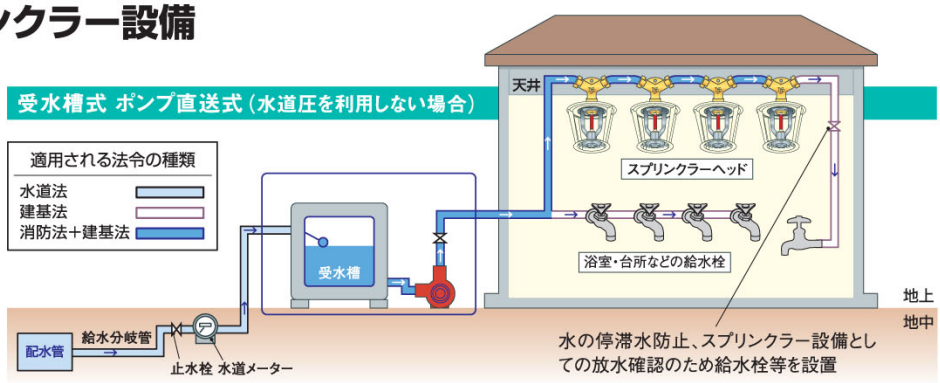
ヘッドの感熱部に耐久性に優れたグラスバルブを採用しています。

YWSG30型　YWSG30-93型

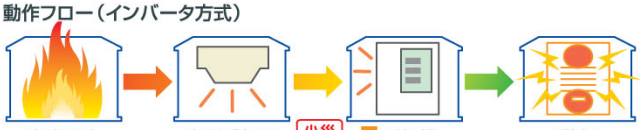
■樹脂管

■継手

受水槽式 ポンプ直送式（水道圧を利用しない場合）



動作フロー（インバータ方式）



※特定施設水道連結型スプリンクラー設備のご採用に当たっては、所轄の水道局・消防署へのご相談とその指導に従ってください。

使用商品

◎SPヘッド　◎末端試験弁
◎停滞水防止継手　◎インバータポンプ

スプリンクラー・給水装置共用 新型インバータポンプ採用！

通常時は給水用ポンプとして、使用水量に応じてポンプの「運転・停止」を自動で行います。火災発生時には、自動火災報知器の火災信号または感知器作動信号と連動して、2台のポンプを強制運転。これにより、スプリンクラー作動時に所要最大能力を発揮することができます。

インバータポンプ
カバー有（上）・無（左）

●設置コストが安価！

給水配管と消火配管を共用できるため、給水と消火を合わせたコストを節減できます。

●電気代が約半分！

インバーターポンプの採用により水道にかかわる電気代は約半分に節約できます。

●断水時も安心！

災害時の断水の場合には受水槽内の水を消火用、生活用水として使用できます。

●低騒音タイプ

運転音がとても静かで、稼働時も気になりません。

●消防設備士以外でも設置可能！

給水ポンプなので、消防法の加圧送水装置基準の適用を受けません。（ただし消防設備士の監督が必要）

グループホームに必要な設置が義務付けされている防災機器

火災通報装置
TM-119Y-J
TECMOS™
非常ボタンを押すだけで自動的に119番へ火災通報します。

■型名:TM-119Y-J
■質量:約2.2kg
■寸法:W300×H330×D70mm

自動火災報知設備
P型2級受信機
【火災受信盤】

■型名:RPP-EBW01
■質量:約1.4kg
■寸法:W230×H190×D66mm

粉末（ABC）消火器【蓄圧式】
YA-10XⅢ/10型
国家検定合格品
グリーン購入法適合品
玄関やリビングなどに

■質量:約5.22kg
■薬剤量:3.0kg
■全高:約44cm

YP QR 電子マニュアル付き
http://yp-vt.net/alltop

訓練用放射器具「はやわざクン®」

消火器の使い方を経験しておけば、「イザ!!」というとき安心です。

圧力充てんはもう不要、水道ホースから水を入れるだけで繰り返し使え、効率よく消火器の使用法をマスターすることができます。

ヤマトプロテックオリジナル
電子マニュアル（特許申請中）付き!
http://yp-vt.net/yts1.5_3/

水道ホースと連結して簡単充てん!

YTS-1　YTS-3

	YTS-1	YTS-1.5	YTS-3
総質量（水量含）	約2.3kg	約3.5kg	約5.7kg
水充てん量（at 0.2MPa）	1.0 L	1.6 L	3.0 L
放射時間（at 0.2MPa）	約10秒	約17秒	約30秒
放射距離	3～6m	4～8m	4～8m
使用圧力範囲	2.0～9.8（×10⁻¹MPa）		
本体価格（税別）	9,800円	15,000円	17,000円

※水道水の圧力は、0.2MPa以上が必要です。
水道水の圧力が低い場合は、取扱説明書記載の方法で圧力を充てんしてください。

※訓練用放射器具は消火器ではありません。火災の消火には使用しないでください。